記者発表資料

平成２１年７月３１日
岩手河川国道事務所
北上川ダム統合管理事務所

北上川（岩手県内）の一級河川の水質は概ね良好

～平成 20 年一級河川水質現況～

岩手河川国道事務所と北上川ダム統合管理事務所では、平成 20 年（1～12 月）の北上川（岩手県内）の水質調査結果をとりまとめましたので、お知らせします。

【概要】

◎ 「胆沢川」「和賀川」「猿ヶ石川」が東北水質ランキングでは、上位をランク
◎ 北上川（岩手県内）における環境基準を満足している地点の割合は約９７％
◎ 水質事故は年間７７件発生（平成 19 年の 82 件とほぼ同じ）

◆調査地点数（調査地点位置は、次頁）

○　岩手河川国道事務所　　１８地点

○　北上川ダム統合管理事務所　　１３地点

（添付資料）

Ⅰ、東北地方一級河川水質ランキング　・・・・・　1
Ⅱ、水質調査の結果　・・・・・　3
Ⅱ－１、水質調査結果（岩手河川国道事務所）　・・・・・　4
Ⅱ－２、水質調査結果（北上川ダム統合管理事務所）　・・・・・　5
Ⅲ、水質事故発生状況　・・・・・　6
【参考資料】生活環境の保全に関する環境基準　河川・湖沼　・・・・・　7

※国土交通本省においては全国版を、また、東北地方整備局においては東北版を同時発表しております。

〈発表記者会：岩手県政記者クラブ〉

［お問い合わせ先］
岩手河川国道事務所
河川管理課　専門職　下村（しもむら）　泰司（たいじ）（℡019-624-3281(直通)）
北上川ダム統合管理事務所
調査課長　大塚（おおつか）　勝章（かつあき）（℡019-643-7831（代表））内線 351

Ⅰ．東北地方一級河川水質ランキング

◎「胆沢川」「和賀川」「猿ヶ石川」が上位にランク

東北地方の一級河川のうち、本ランキングの対象となる２４河川を水質（ＢＯＤ※1）が良い順に並べると表－１のとおりです。

昨年に引き続き「胆沢川」「和賀川」は、上位にランク、「猿ヶ石川」は、昨年１８位から８位にランクアップ（BOD年平均値は、最大の河川でも 1.8mg/Lであり、環境基準上はヤマメ・イワナ等が生息できるレベルの水質です）。

【条件】

■河川水質ランキングは、以下の条件を満たす河川を対象としています。

・一級河川本川：　国土交通大臣管理区間に調査地点注) が２つ以上ある河川。

・一級河川支川：　国土交通大臣管理区間の延長が概ね 10km以上で、かつ調査地点注) が２つ以上ある河川。

注）湖沼類型指定、海域類型指定の調査地点は含まない。ダム貯水池は原則として調査地点に含まない。

■順位は、BOD(生物化学的酸素要求量)の年平均値を用いて、各河川毎に全ての調査地点を平均した値で評価します。なお、年平均値が同じ場合には 75%値※2 で評価しています。

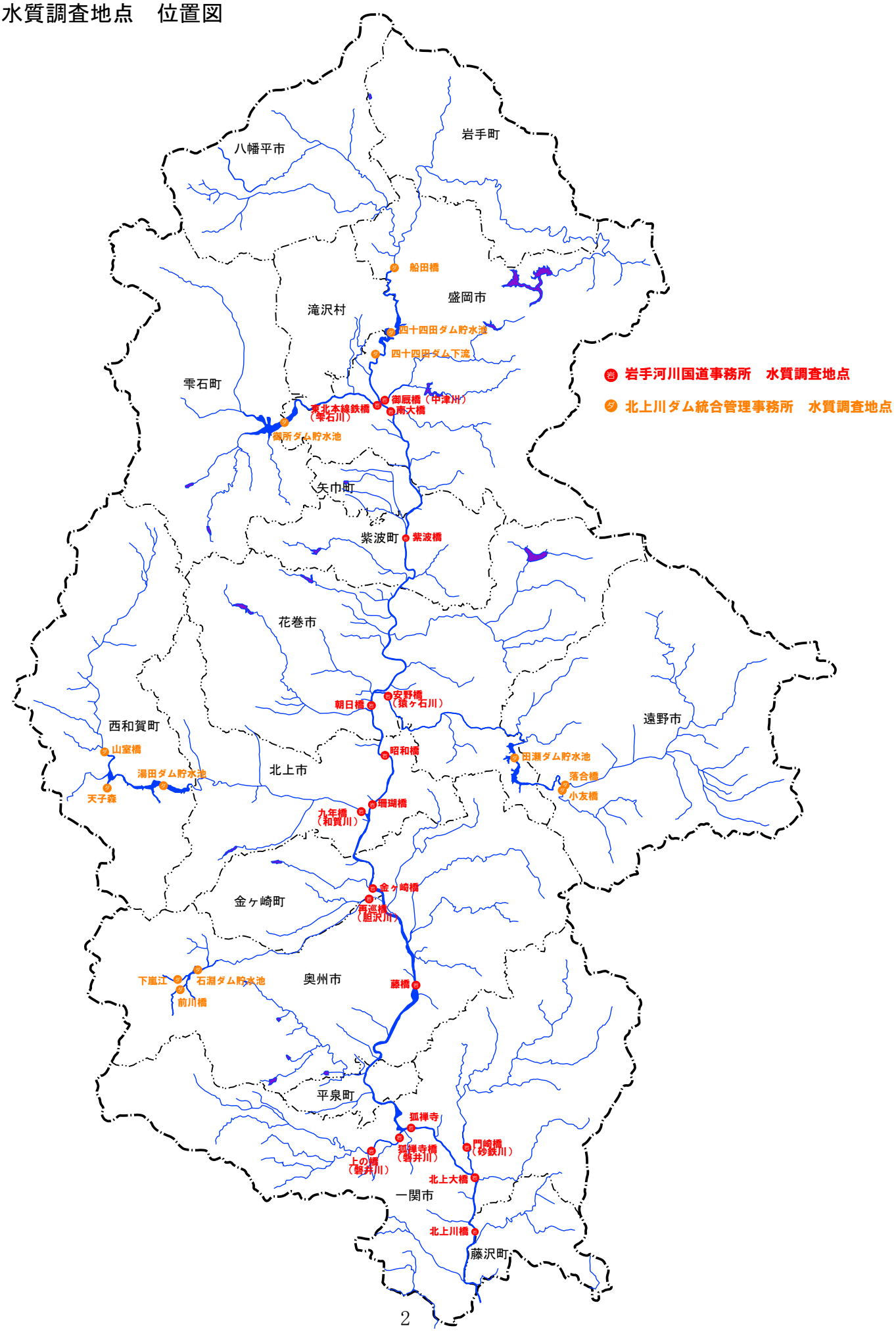
表－１　ランキングとＢＯＤ

東北地方２４河川における順位			全国(166河川)における順位		調査地点の県名	水系名	河川名	BOD年平均値(mg/L)		BOD75%値(mg/L)	
	H20	H19	H20	H19				H20	H19	H20	H19
→	1	1	1	1	福島	阿武隈川	荒川	0.5	0.5	0.5	0.5
→	2	2	22	20	秋田	雄物川	玉川	0.7	0.7	0.7	0.7
→	2	2	22	20	山形	赤川	赤川	0.7	0.7	0.7	0.7
↓	4	2	35	20	岩手	北上川	胆沢川	0.7	0.7	0.8	0.7
↑	4	5	35	31	山形	最上川	鮭川	0.7	0.7	0.8	0.8
↑	6	7	62	41	岩手	北上川	和賀川	0.9	0.7	0.9	0.9
↑	7	11	66	75	青森	岩木川	平川	0.9	1.0	1.0	0.9
↑	8	18	72	100	岩手	北上川	猿ヶ石川	0.9	1.1	1.1	1.2
↑	8	20	72	122	宮城	北上川	江合川	0.9	1.3	1.1	1.0
↑	8	13	72	80	秋田	雄物川	雄物川	0.9	1.0	1.1	1.1
↑	11	13	81	80	宮城	名取川	笊川	1.0	1.0	1.0	1.1
↓	12	8	84	63	宮城	名取川	名取川	1.0	0.9	1.1	1.0
↓	13	12	94	77	秋田	米代川	米代川	1.0	1.0	1.2	1.0
→	13	13	94	80	岩手・宮城	北上川	北上川	1.0	1.0	1.2	1.1
↓	15	8	108	63	宮城	北上川	旧北上川	1.1	0.9	1.2	1.0
↑	16	17	114	89	岩手	北上川	磐井川	1.1	1.0	1.3	1.2
↓	16	8	114	63	秋田	子吉川	子吉川	1.1	0.9	1.3	1.0
↓	16	5	114	31	青森	馬淵川	馬淵川	1.1	0.7	1.3	0.8
↓	19	13	120	80	宮城	鳴瀬川	鳴瀬川	1.2	1.0	1.3	1.1
↑	20	22	130	137	宮城	鳴瀬川	吉田川	1.3	1.5	1.4	1.6
↓	20	19	130	118	山形	最上川	最上川	1.3	1.2	1.4	1.4
↑	22	23	145	141	福島・宮城	阿武隈川	阿武隈川	1.5	1.6	1.7	2.0
↓	23	21	150	135	青森	岩木川	岩木川	1.7	1.5	1.7	1.5
→	24	24	154	145	山形	最上川	須川	1.8	1.7	2.3	2.0

※１　「ＢＯＤ（生物化学的酸素要求量）」は、河川の水質を示す代表的指標で、値が大きいほど水質が汚れていることを示します。

※２　**「７５%値」**とは、月１回の水質測定で、年１２回分のデータがあったとした場合、そのデータを小さい順から並べ、１２回×０．７５≒９番目のデータの値を言います。河川が通常の状態（渇水でない）のデータ。（環境基準の満足状況の評価に用いる）

水質調査地点　位置図


岩手河川国道事務所　水質調査地点
北上川ダム統合管理事務所　水質調査地点
八幡平市
岩手町
滝沢村
盛岡市
雫石町
矢巾町
紫波町
花巻市
西和賀町
北上市
遠野市
金ケ崎町
奥州市
平泉町
一関市
藤沢町
船田橋
四十四田ダム貯水池
四十四田ダム下流
御厩橋（中津川）
東北本線鉄橋（雫石川）
南大橋
穴瀬ダム貯水池
紫波橋
安野橋（猿ケ石川）
朝日橋
昭和橋
山室橋
湯田ダム貯水池
天子森
田瀬ダム貯水池
落合橋
小友橋
九年橋（和賀川）
珊瑚橋
金ケ崎橋
西巡橋（胆沢川）
下嵐江
石淵ダム貯水池
前川橋
藤橋
狐禅寺
狐禅寺橋（磐井川）
上の橋（磐井川）
門崎橋（砂鉄川）
北上大橋
北上川橋

Ⅱ. 水 質 調 査 の 結 果

◎北上川（岩手県内）における環境基準※2（ＢＯＤ又はＣＯＤ※1）を満足※3している地点の割合は９７％！

北上川（岩手県内）の類型指定※4されている区間内には水質調査地点が３１地点ありますが、環境基準の代表的な水質指標である**ＢＯＤ又はＣＯＤを満足した地点数の割合は約９７％（３０地点中２９地点で満足）**でした。**満足している割合は平成19年と同じでした。**

東北地方一級河川の全調査地点の水質（ＢＯＤ調査地点）

水系名	河川名	地点名	環境基準(類型)	ＢＯＤ	
				年平均値(mg/L)	75%値(mg/L)
北上川	北上川	船田橋	A	0.9	1.1
北上川	北上川	四十四田橋	A	0.8	0.8
北上川	中津川	御厩橋	A	0.6	0.7
北上川	雫石川	東北本線鉄橋	A	0.8	0.8
北上川	北上川	南大橋	A	0.8	1.0
北上川	北上川	紫波橋	A	1.0	1.2
北上川	猿ヶ石川	落合橋	A	0.8	1.0
北上川	小友川	小友橋	A	0.6	0.6
北上川	猿ヶ石川	安野橋	A	1.0	1.2
北上川	北上川	朝日橋	A	1.0	1.2
北上川	北上川	昭和橋	A	1.0	1.2
北上川	北上川	珊瑚橋	A	1.0	1.1
北上川	和賀川	山室橋	AA	0.7	0.6
北上川	小鬼ヶ瀬川	天子森	未	1.1	1.3
北上川	和賀川	九年橋	A	0.8	0.9
北上川	北上川	金ヶ崎橋	A	1.2	1.3
北上川	前川	前川橋	AA	0.6	0.5
北上川	胆沢川	下嵐江	AA	0.5	<0.5
北上川	胆沢川	再巡橋	A	0.9	1.1
北上川	北上川	藤橋	A	1.1	1.2
北上川	磐井川	上の橋	A	0.9	1.2
北上川	磐井川	狐禅寺橋	C	1.2	1.4
北上川	北上川	狐禅寺	A	1.1	1.3
北上川	砂鉄川	門崎橋	A	0.8	0.8
北上川	北上川	北上大橋	A	1.1	1.2
北上川	北上川	北上川橋	A	1.1	1.2

東北地方一級河川の全調査地点の水質（ＣＯＤ調査地点）

水系名	河川名	地点名	環境基準(類型)	ＣＯＤ	
				年平均値(mg/L)	75%値(mg/L)
北上川	北上川	四十四田ダム貯水池	A	2.1	2.4
北上川	雫石川	御所ダム貯水池	A	1.6	2.0
北上川	猿ヶ石川	田瀬ダム貯水池	A	2.3	2.8
北上川	和賀川	湯田ダム貯水池	A	2.0	2.4
北上川	胆沢川	石淵ダム貯水池	AA	1.7	2.2

（北上川　小鬼ヶ瀬川　天子森地点は、環境基準が設定されていないため、統計より除いている）

注１）　報告下限値を0.5mg/Lとして集計しており、報告下限値を下回る地点は、「<0.5」と表示している。
注２）　環境基準（類型）が未指定の地点は「未」と表示している。
注３）　環境基準（類型）を満足していない地点は、「朱書き」としている。

※１　「ＣＯＤ（化学的酸素要量）」は、ダムや湖沼等の水質を示す代表的指標で、値が大きいほど水質が汚れていることを示します。

※２　「環境基準」は、川の一定の区間及びダム・湖沼で、望ましい水質の目標を定めた値。

●河川における類型別環境基準は以下のとおりである。

ＡＡ類型	ＢＯＤ　1mg/l以下	Ｂ類型	ＢＯＤ　3mg/l以下	Ｄ類型	ＢＯＤ　8mg/l以下
Ａ類型	ＢＯＤ　2　〃	Ｃ類型	ＢＯＤ　5　〃	Ｅ類型	ＢＯＤ１０　〃

●ダム・湖沼における類型別環境基準は以下のとおりである。

ＡＡ類型	ＣＯＤ　1mg/l以下	Ｂ類型	ＣＯＤ　5mg/l以下
Ａ類型	ＣＯＤ　3　〃	Ｃ類型	ＣＯＤ　8　〃

※３　**「環境基準を満足」**とは、環境基準を定めた河川の区間で、代表する地点（環境基準点）の水質の測定値が、目標とする環境基準の値を満足しているかで判断します。一般に河川ではＢＯＤ７５%値、ダム・湖沼ではＣＯＤ７５%値で判断します。

※４　「類型指定」とは、生活環境項目の環境基準を定めた河川の区間、又はダム・湖沼で、目標とするＢＯＤ、ＣＯＤを当てはめたもので、類型の種類は上記※２がある。

Ⅱ－１．水 質 調 査 の 結 果（岩手河川国道事務所調査分）

◎環境基準（ＢＯＤ）は全ての水質調査地点で満足！

岩手河川国道事務所が調査している水質調査地点が１８地点ありますが、環境基準の代表的な水質指標である**ＢＯＤを満足した地点数の割合は１００％（１８地点中１８地点で満足）**でした

近年5ヵ年のBOD（年平均及び75%値）

単位：mg/L

No.	河川名	調査地点	環境基準(類型指定)	達成期間	指定機関	項目	H16	H17	H18	H19	H20
1	中津川	御厩橋	A	イ	岩手県	年平均	0.6	0.6	0.7	0.6	0.6
						75%値	0.6	0.7	0.8	0.7	0.7
2	雫石川	東北本線鉄橋	A	イ	岩手県	年平均	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
						75%値	0.8	0.8	0.9	0.9	0.8
3	北上川	南大橋	A	イ	環境省	年平均	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8
						75%値	0.8	0.9	0.9	0.8	1.0
4	北上川	紫波橋	A	イ	環境省	年平均	0.9	0.9	1.0	0.9	1.0
						75%値	1.1	1.1	1.1	1.1	1.2
5	猿ヶ石川	安野橋	A	イ	岩手県	年平均	1.0	1.2	1.1	1.1	1.0
						75%値	1.1	1.3	1.2	1.2	1.2
6	北上川	朝日橋	A	イ	環境省	年平均	1.0	1.0	1.0	0.9	1.0
						75%値	1.1	1.1	1.2	1.1	1.2
7	北上川	昭和橋	A	イ	環境省	年平均	0.9	1.1	1.0	0.9	1.0
						75%値	1.0	1.3	1.2	1.0	1.2
8	北上川	珊瑚橋	A	イ	環境省	年平均	1.0	1.1	1.0	0.9	1.0
						75%値	1.2	1.3	1.1	1.1	1.1
9	和賀川	九年橋	A	イ	岩手県	年平均	0.7	0.8	0.7	0.7	0.8
						75%値	0.7	1.0	0.8	0.8	0.9
10	北上川	金ヶ崎橋	A	イ	環境省	年平均	1.1	1.1	1.1	1.1	1.2
						75%値	1.2	1.2	1.2	1.3	1.3
11	胆沢川	再巡橋	A	イ	岩手県	年平均	0.7	0.9	0.8	0.7	0.9
						75%値	0.8	1.1	0.9	0.7	1.1
12	北上川	藤橋	A	イ	環境省	年平均	1.0	1.2	1.0	1.0	1.1
						75%値	1.2	1.4	1.1	1.2	1.2
13	磐井川	上の橋	A	ロ	岩手県	年平均	0.8	1.1	0.8	0.8	0.9
						75%値	1.0	1.1	0.9	1.0	1.2
14	磐井川	狐禅寺橋	C	ロ	岩手県	年平均	1.4	1.8	1.2	1.2	1.2
						75%値	1.7	2.1	1.3	1.3	1.4
15	北上川	狐禅寺	A	イ	環境省	年平均	1.0	1.2	1.1	1.1	1.1
						75%値	1.1	1.4	1.1	1.2	1.3
16	砂鉄川	門崎橋	A	イ	岩手県	年平均	0.7	0.8	0.8	0.7	0.8
						75%値	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
17	北上川	北上大橋	A	イ	環境省	年平均	1.0	1.2	1.0	1.0	1.1
						75%値	1.2	1.3	1.0	1.2	1.2
18	北上川	北上川橋	A	イ	環境省	年平均	1.0	1.2	1.1	1.1	1.1
						75%値	1.1	1.2	1.1	1.2	1.2
岩手河川国道事務所　調査地点分の平均※1						年平均	0.9	1.0	0.9	0.9	1.0
						75%値	1.0	1.2	1.0	1.0	1.1

※1　18地点の年平均又は75%値を平均した数値

Ⅱ－２．水 質 調 査 の 結 果（北上川ダム統合管理事務所調査分）

◎ 河川は全地点で環境基準（ＢＯＤ）を満足しているが、
ダム湖では石淵ダムで環境基準（ＣＯＤ）を超過

北上川ダム統合管理事務所が調査している水質調査地点は１３地点ありますが、環境基準の代表的な水質指標である**ＢＯＤ又はＣＯＤを満足した地点数の割合は約９２％（１２[※1]地点中１１地点で満足）**でした。

近年5ヵ年のBOD又はCOD（年平均及び75%値）

単位：mg/L

項目	No.	河川名	調査地点	環境基準(類型指定)	達成期間	指定機関	項目	H16	H17	H18	H19	H20
BOD	1	北上川	船田橋	A	イ	環境省	年平均	0.9	1.0	0.9	1.0	0.9
							75%値	1.0	1.1	1.1	1.1	1.1
	2	北上川	四十四田橋	A	イ	環境省	年平均	0.8	0.8	0.7	0.9	0.8
							75%値	0.8	0.9	1.0	1.0	0.8
	3	猿ヶ石川	落合橋	A	イ	岩手県	年平均	0.9	0.9	0.9	1.0	0.8
							75%値	1.0	1.1	1.0	1.1	1.0
	4	小友川	小友橋	A	イ	岩手県	年平均	0.7	0.8	0.7	0.8	0.6
							75%値	0.7	0.9	0.7	0.7	0.6
	5	和賀川	山室橋	AA	イ	岩手県	年平均	0.9	0.8	0.7	0.6	0.7
							75%値	1.1	0.8	0.7	0.7	0.6
	6	小鬼ヶ瀬川	天子森	未	－	－	年平均	0.9	1.1	1.1	0.9	1.1
							75%値	1.0	1.2	1.3	1.1	1.3
	7	前川	前川橋	AA	イ	岩手県	年平均	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6
							75%値	0.6	0.7	0.7	0.6	0.5
	8	胆沢川	下嵐江	AA	イ	岩手県	年平均	0.6	0.5	0.6	0.6	0.5
							75%値	0.6	0.6	0.8	0.6	<0.5
COD	9	北上川	四十四田ダム	A	イ	環境省	年平均	2.0	1.9	2.2	1.9	2.1
							75%値	1.8	2.2	2.7	2.1	2.4
	10	雫石川	御所ダム	A	イ	岩手県	年平均	1.7	1.6	1.8	1.8	1.6
							75%値	1.9	1.7	2.0	1.9	2.0
	11	猿ヶ石川	田瀬ダム	A	イ	岩手県	年平均	1.9	3.1	1.6	2.4	2.3
							75%値	2.2	2.9	1.8	2.6	2.8
	12	和賀川	湯田ダム	A	イ	岩手県	年平均	2.1	1.9	2.4	1.9	2.0
							75%値	2.4	2.3	2.8	2.1	2.4
	13	胆沢川	石淵ダム	AA	イ	岩手県	年平均	1.5	1.5	2.9	1.6	1.7
							75%値	1.9	1.8	2.8	1.7	2.2
北上川ダム統合管理事務所　調査地点分の平均[※2]						BOD	年平均	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
							75%値	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8
						COD	年平均	1.8	2.0	2.2	1.9	1.9
							75%値	2.0	2.2	2.4	2.1	2.4

※1　小鬼ヶ瀬川の天子森は環境基準（類型）が未指定のため満足の割合に含めておりません。
※2　13地点の年平均又は75%値を平均した数値

Ⅲ．水質事故発生状況

◎水質事故は年間７７件発生（平成 19 年の 82 件とほぼ同じ）

北上川（岩手県内）における平成 20 年１月～12 月までの水質事故発生件数は７７件で、平成 19 年とほぼ同数程度となりました。

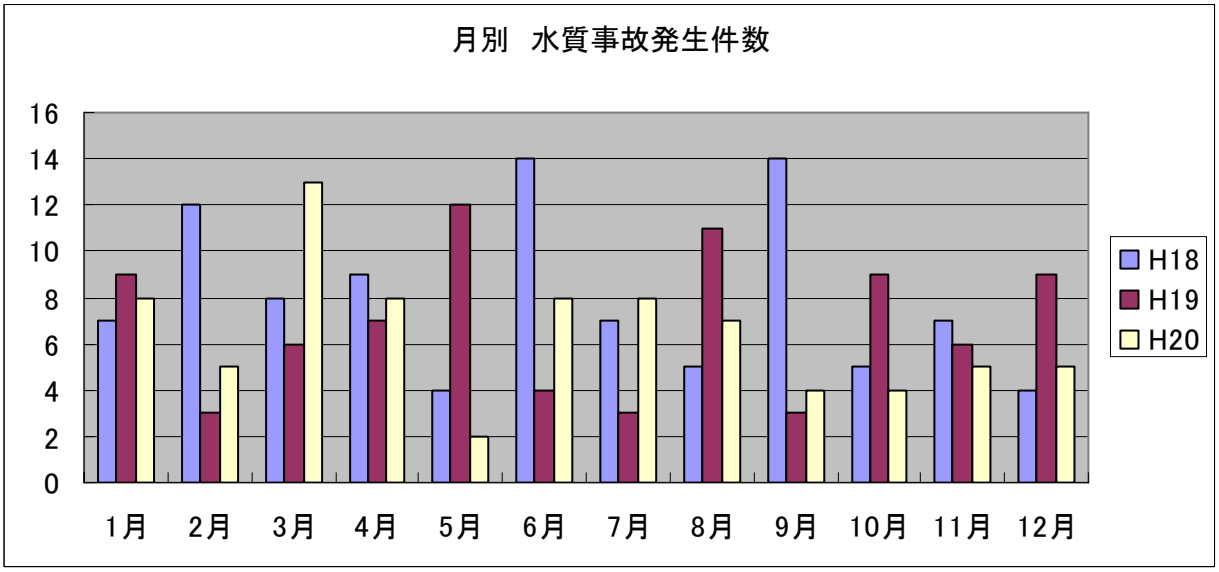
これらの水質事故については、北上川水系水質汚濁対策連絡協議会の関係機関等の対応により、重大な事故には至っておりません。

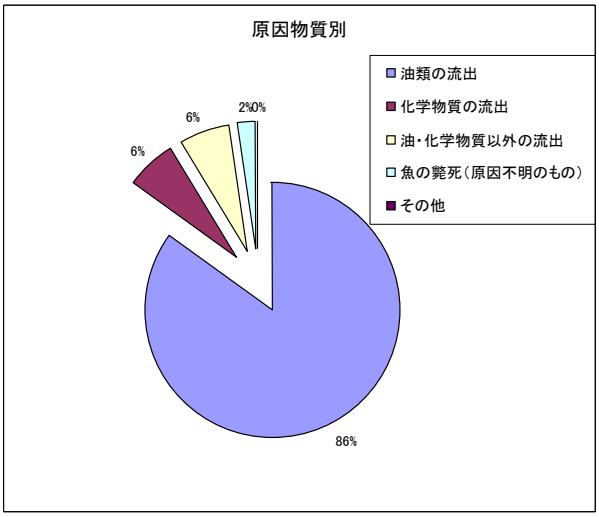
原因物質別では、約９割が『油類の流出』で、発生原因別では３割が『交通事故』ですが、依然として灯油移し変え時の人為的なミスによる『操作ミス』が２割を占めています。

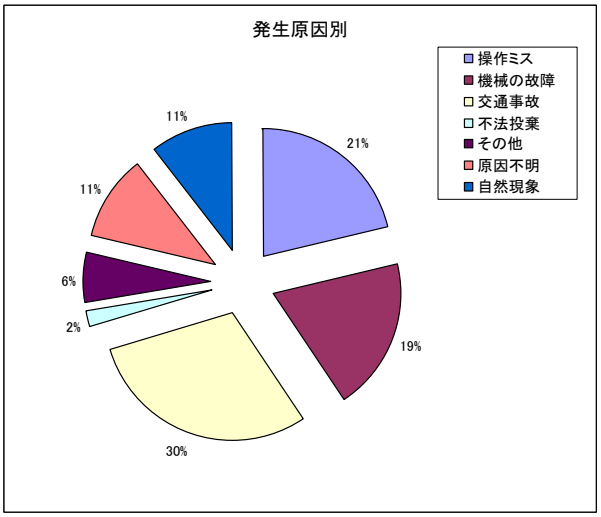
平成 20 年では「葛根田川土砂崩落 4/20」による地熱発電所配管破損による熱水流出、「岩手宮城内陸地震 6/14」「岩手県沿岸北部地震 7/24」によるホームタンク転倒等による灯油流出が発生し、自然災害を起因とした事故が特徴的でした。

水質事故発生件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
H18	7	12	8	9	4	14	7	5	14	5	7	4	96
H19	9	3	6	7	12	4	3	11	3	9	6	9	82
H20	8	5	13	8	2	8	8	7	4	4	5	5	77







【参考資料】

生活環境の保全に関する環境基準

河川・湖沼

(1) 河川（湖沼を除く）

類型	利用目的の適応性	項目				
		pH	BOD	SS	DO	大腸菌群数
AA	水道１級 自然環境保全 及びＡ以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	１mg/L 以下	25mg/L 以下	7.5mg/L 以上	50MPN/100mL以下
A	水道２級 水産１級 水浴 及びＢ以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	２mg/L 以下	25mg/L 以下	7.5mg/L 以上	1000MPN/100mL以下
B	水道３級 水産２級 及びＣ以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	３mg/L 以下	25mg/L 以下	5.0mg/L 以上	5000MPN/100mL以下
C	水産３級 工業用水１級 及びＤ以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	５mg/L 以下	50mg/L 以下	5.0mg/L 以上	－
D	工業用水２級 農業用水 及びＥの欄に掲げるもの	6.0以上 8.5以下	８mg/L 以下	100mg/L 以下	2.0mg/L 以上	－
E	工業用水３級 環境保全	6.0以上 8.5以下	10mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2.0mg/L 以上	－

備考１．基準値は日間平均値とする（湖沼、海域もこれに準ずる）。

２．農業用利水点については、pH6.0以上7.5以下、DO５mg/L以上とする（湖沼もこれに準ずる）。

㈱ １．自然環境保全：自然探勝等の環境保全

２．水　道　１　級：濾過等による簡易な浄水操作を行うもの
水　道　２　級：沈殿濾過等による通常の浄水操作を行うもの
水　道　３　級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの

３．水　産　１　級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産２級及び水産３級の水産生物用
水　産　２　級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産３級の水産生物用
水　産　３　級：コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用

４．工業用水１級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
工業用水２級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
工業用水３級：特殊な浄水操作を行うもの

５．環　境　保　全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む）において不快感を生じない限度

(2) 湖沼（天然湖沼及び貯水量1,000万m^3以上の人工湖）

類型	利用目的の適応性	項目				
		pH	COD	SS	DO	大腸菌群数
AA	水道１級 水産１級 自然環境保全 及びA以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	１mg/L 以下	１mg/L 以下	7.5mg/L以上	50MPN/ 100mL 以下
A	水道２、３級 水産２級 水浴 及びB以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	３mg/L以下	５mg/L 以下	7.5mg/L以上	1000MPN/ 100mL 以下
B	水道３級 工業用水１級 農業用水 及びC以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	５mg/L 以下	15mg/L 以下	5.0mg/L以上	－
C	工業用水２級 環境保全	6.0以上 8.5以下	8mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2.0mg/L以上	－

備考　水産１、２、３級については、当分の間、SSの基準値は適用しない

㈱1　自然環境保全：自然探勝等の環境保全

2　水　道　1　級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
　　水道２、３級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作、又は、前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの

3　水　産　1　級：ヒメマス等貧栄養湖型の水域の水産生物用並びに水産２級及び水産３級の生物用
　　水　産　2　級：サケ科魚類及びアユ等貧栄養湖型の水域の水産生物用及び水産３級の水産生物用
　　水　産　3　級：コイ、フナ等富栄養湖型の水域の水産生物用

4　工業用水１級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
　　工業用水２級：薬品注入等による高度の浄水操作、又は、特殊な浄水操作を行うもの

5　環　境　保　全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む）において不快感を生じない限度